

今後の方向性について（案）

- ☆ 湖北圏域における医療機能分化・連携の推進と、地域包括ケアシステムの充実に向けて、それぞれの役割・機能を関係者間で共有し、各機関で強化すべきこと・圏域全体で取り組むべきことの議論を継続する
- ☆ 上記を具体的に進めるために、次年度以降も、継続して議論していく。
〈基本姿勢〉
 - 充足している機能は、継続して維持していくとともに質的に強化し、不足している機能は、各機関でおのこの可能な範囲で補強し、また、圏域内での連携・協働しあうなどの、方策を考える
- ☆ 具体的に進める上で、地域医療介護総合確保基金（医療分）の活用を圏域として検討し、提案していく
- ☆ 圏域の目指すべき全体像を念頭に置きながら、入院医療・在宅療養・看取りの分野等のテーマに焦点を当て、年間2回の会議およびその他必要に応じて意見交換会等を設けながら、包括的な地域ケアシステムの推進を目指す

平成30年度以降の予定（案）

○ 圏域医療構想調整会議の開催

回数：概ね 年2回

時期：概ね 6月・12月

内容：上記「今後の方向性」に沿って、委員および関係者の意見を反映

○ その他

- ・それぞれの機関が実施する連携・調整にかかる会議や、研修との連動を図る
- ・必要に応じて、意見交換会・情報交換会等を開催し、共有・調整の場を設ける。